

# 受入場所における建設発生土の搬入方法

## (1) 搬入車両

搬入ダンプ車は、荷台枠60cm以下の高さのものとし、差枠は使用できません。

## (2) 運搬時の注意

建設発生土の運搬にあたっては、過積載がないようにするとともに、積載物が飛散、流出又は落下しないように十分な措置を講じるなど、道路交通法規を遵守してください。

## (3) 受入場所での注意

ア 受入場所に到着したときは、速やかに荷台のシートを取り除き、係員による建設発生土の検査を受けてください。検査の結果、係員が不相当と判断した場合は、直ちに搬出元の工事現場へ持ち帰ってください。

イ トラックスケール（台貫）の付近では無線機、携帯電話等を使用しないでください。

ウ 受入場所内では、係員の指示に従ってください。

## (4) トラックスケールによる建設発生土の計量手順

ア 車両を入口トラックスケールに載せ、音声ガイダンスに従って「搬入カード」を操作ターミナルのカード挿入口に差し込んでください。

イ 音声ガイダンスに従って「搬入カード」を抜き取り、信号が青色になっていることを確認後、車両をトラックスケールから降ろしてください。

ウ 建設発生土を指定された場所に降ろしてください。

エ 車両を出口トラックスケールに載せ、音声ガイダンスに従って「搬入カード」を操作ターミナルのカード挿入口に差し込んでください。

オ 計量完了後、操作ターミナルにて「計量票」が発行されます。

カ 「搬入カード」を抜き取り、「計量票」を受け取ってください。

なお、「計量票」は、再発行できませんので、注意してください。

キ 信号が青色になっていることを確認後、音声ガイダンスに従って車両をトラックスケールから降ろしてください。

## (5) トラックスケールの故障等

故障等でトラックスケールによる計量が不能となった場合等は、「台貫施設故障時搬入券」を発行いたします。

なお、みなし土量は、1 m<sup>3</sup>あたりの換算数を1.8トンとし、以下のとおりとします。

(例)

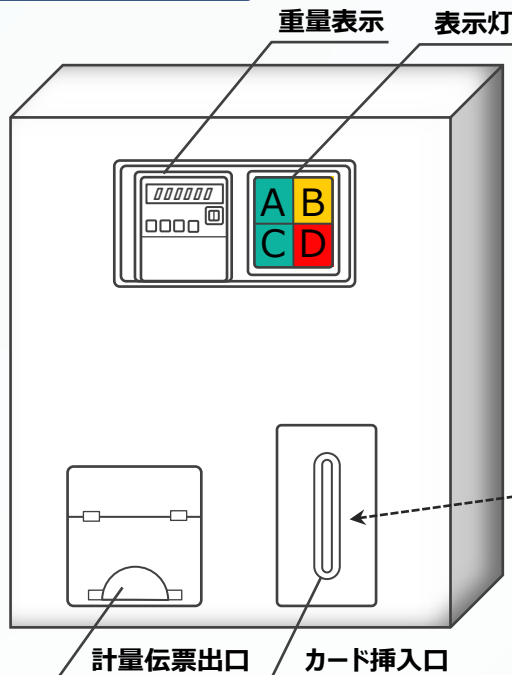
種 別	大 型 車	中 型 車	小 型 車 1	小 型 車 2
みなし計量	5.5 m <sup>3</sup>	4.4 m <sup>3</sup>	2.2 m <sup>3</sup>	1.1 m <sup>3</sup>

## その他留意事項

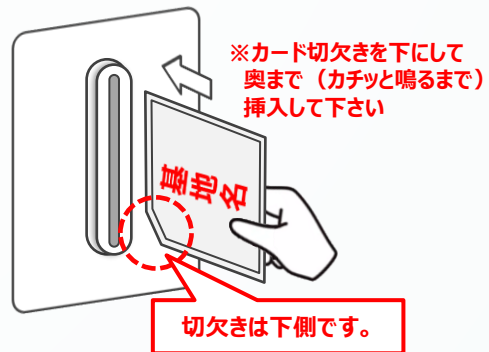
虚偽の申込み、搬入カードの不正使用、その他受入条件に違反した場合は、当該申込みに係る建設発生土の搬入を停止するとともに、以後のカード発行はいたしません。

また、受入要領は随時改訂されますが、申込み後に受入要領の改訂があった場合は、改訂された内容が適用されます。

## 操作ターミナル

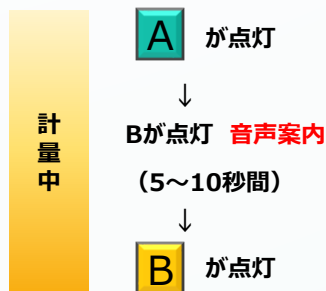


A	カード挿入可	カード挿入OKランプ
B	計量中	計量中ランプ
C	退出可	カード取り出し 退出OKランプ
D	エラー	カード不可ランプ



## 入口での計量手順

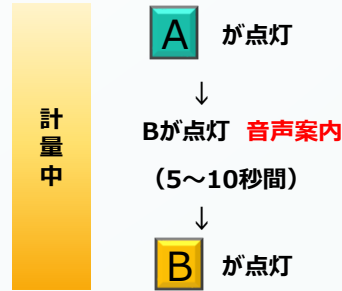
1. 台貫に乗る（音声案内が流れ、Aが点灯）
2. **A** の点灯を確認する
3. 切欠きを下にしてカード挿入



4. 音声案内が流れ、Cが点灯
5. 信号灯が青になる
6. カードを抜き取る
7. 台貫より降りる

## 出口での計量手順

1. 台貫に乗る（音声案内が流れ、Aが点灯）
2. **A** の点灯を確認する
3. 切欠きを下にしてカード挿入



4. 計量伝票出口から計量伝票が発行される（透明カバーを開けて取る）
5. 音声案内が流れ、Cが点灯
6. 信号灯が青になる
7. カードを抜き取る
7. 台貫より降りる

## 注意事項

- 前の車が台貫から降りたのを確認してから、台貫へお進み下さい。
- カードはゆっくり挿入し、ゆっくり抜き取って下さい。
- カードは切欠きを下にして奥まで（カチッと鳴るまで）挿入して下さい。
- カード挿入時、**D** が点灯した時はガードマンをお呼び下さい。